



ヒゲの校長

映画

Once upon a time in Osaka, for the Deaf with Sign Language 1914



【上映日】 2023年10月8日(日)

【会場】 さざんか会館 5階大会議室

(鳥取市富安2丁目104-2)

【入場料】

会員・賛助会員 1,000円
会員外 1,300円
小・中学生 500円
未就学児 無料

【人権講演会】

時間: 13時~14時15分
(受付:12時30分~)

講師: 前田 浩氏

(「ヒゲの校長」出演者)

参加費: 無料

手話通訳
要約筆記
あり

【上映時間】

午前の部: 9時30分~11時30分(受付 9時~) ※定員200名

午後の部: 14時30分~16時30分(受付14時15分~) ※定員200名

【映画について】

皆さんは、耳がきこえない人と話されたことはありますか。筆談、ジェスチャー、口元を見せてゆっくりはっきり話すなど、さまざまなコミュニケーション方法がありますが、その中で手話をメインにして話す人たち「ろう者」がいます。ろう者にとって**手話**はかけがえのない言葉です。

ろう・難聴の子どもたちが通う**ろう学校・聴覚支援学校**では、手話が使われてきたのだろう…そう、多くの方が思うでしょう。ところが、大正の終わり頃から最近までろう学校では手話は禁止・制限されていました。「**口話法**」と言って発声し、相手の口の動きを読みとる方法が急速に広がり、口話法を進めるには手話は不要なものとされてしまったからです。きこえない子どもが訓練によって話せるようになる…、なんと素晴らしいことだろうと、ろう者のことを知らない人は思うかも知れません。

しかし、口話法を身につけさせるために、かつての口話訓練は、つい手話で話してしまう子どもは叩かれ、両手を縛られもした苛酷なものでした。おおっぴらに手話ができないろう者たちはずっと苦しみました。

そこに疑問をもち、個々の子どもに合わせて手話と口話を取り入れる教育を進めた学校がありました。

この映画の舞台となる**大阪市立聾啞学校**です。

映画『ヒゲの校長』は、**校長 高橋 潔**を中心に教師たちがスクラムを組んで、手話を守り続けた実話のもとになっています。

愛情と信念をもって子どもらに接した高橋と「チーム高橋」の教員たち、高橋に献身的に寄り添った家族…戦争にあけくれた困難な時代に、ろう者と共に生きた人々の物語です。

どうぞ、ご家族、お友だちとご一緒にお越しく下さい。



【あらすじ】



大正3年仙台から大阪へ、青年高橋潔は、恩師の紹介状を持って大阪市立聾学校聾啞学校の門を叩いた。家の事情にて海外留学し音楽家を旨とする夢をあきらめ、失意にあった高橋。

そんな彼の前に現れたのは、家から追い出され、警官に連れられて来た正一君。耳がきこえず、会話できないもどかしさで暴れる正一君に、高橋は寄り添い、手話を覚え、彼と共に歩みだす…。手話やろう者のことを高橋先生に教えるきこえない先生たち…。

しかし、時代は大きく変わる。「口話法」という嵐が全国の聾学校に吹きまくり、口の動きを読み取り、発語できるようにするためには手話は禁止するべきと、ほとんどの学校が手話を抑えていった。

ろう者の言葉である手話がつぶされそうになっていく中、手話とろう者を守るべく、高橋校長と先生たちは一丸となって時代にあらがおうと立ち上がった…。

「ヒゲの校長」上映会・人権講演会 参加申込 FAX 0857-32-6071

氏 名	
所 属 <small>○をつけてください</small>	鳥取県聴覚障害者協会 会員 ・ 賛助会員 会員外 ・ 小・中学生 ・ 未就学児
参加内容 <small>○をつけてください</small>	上映会（午前） ・ 人権講演会 ・ 上映会（午後）
電話／FAX	

右記にご記入の上、FAXまたはHPにてお申し込みください



👉 お申込み
フォームは
こちら！

申込締切
10/4(水)

※記載された個人情報については、他の目的には一切使用しません。

主 催: 公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会
申込・問合せ先: 公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会 東部事務局
 〒680-0845 鳥取市富安二丁目104-2 さざんか会館内
FAX: 0857-32-6071 / TEL: 0857-32-6070